



- 体育会名：関西学院大学体育会フェンシング部
- 創部年：1940年(昭和15年)
- 2025年度部員数：33人(4年7人、3年9人、2年9人、1年8人)

- 同窓倶楽部名：関西学院大学体育会フェンシング部 OBOG 会
- 同窓倶楽部通称：新月洋剣会
- 会員数：292人(男性251人、女性41人)
- ＊ 物故者含む (内 物故者男子69人/女子0人) 2025/10現在

1940～44年 フェンシング 創部期

大学スポーツとしてのフェンシングは、1932(昭和7)年にフランスから帰国した岩倉具清氏が法大、慶大で指導し、その後明大、専大、東大へも広がり、関西でも36年に大阪YMCAで大阪フェンシングクラブが結成された。その後同志社、関大、そして40年、三島清春によって関学フェンシングクラブが創部された。

ただ第二次世界大戦が勃発し、繰上げ卒業で出征する部員もおり44年閉部となる。

1940年 関学フェンシングクラブ 創設

41年 関西選手権 団体 フルーレ、エペ優勝

関西選手権 個人 フルーレ、エペ優勝 三島

42年 関西選手権 団体 優勝

関西選手権 個人 三島 優勝

東京遠征で法大 明大 専大を破る

44年 閉部

49～54年 戦後からの部再開

戦後、各大学が活動を再開し始める中、49年にフェンシングクラブを再開、51年に運動総部フェンシング部へ昇格した。

49年 雲財、西井により関学運動総部にフェンシングクラブの復活申請

50年 フェンシングクラブとして運動総部に編入

51年 前田、小嶋により部昇格申請し、フェンシング部に昇格

関関同立で関西学連を結成

関西選手権 優勝 前田

52年 関西選手権 エペ優勝 小嶋

54年 関西選手権 エペ団体 優勝 全日本学生エペ 2位

55～59年 「よく練習する関学」時代を築く

64年東京五輪開催決定を反映して、50年代後半には部員が20数人に増え、全国に「よく練習する関学」の名を馳せた。赴任先シンガポールでもフェンシングを続けた織田、卒業後岡山・西大寺高でフェンシング部を立ち上げ、自らも国体に10数回出場し、以降 現役の西大寺合宿を指導した三宅、卒業後監督に就任した北谷がその代表である。

この年代には、関学女性フェンサー第一号となった高橋知也がいる。当時男子部員からは「質実剛健の部に女子部員入部は軟弱になる」との話があったようだが、当時の男子だけの世界に飛び込み、苦労や悩みを乗り越え国体等で活躍した。

石田三郎は卒業後、関学商学部助教授・教授として学生を教育する傍ら、部長として現役を指導した。また現在のスポーツ選抜制度復活を商学部長として中心的存在を担った。

60～70年 団体・個人で全国制覇/関西制覇続く

森監督のもと団体・個人で全国・関西制覇が続いた。石角、竹安は64年東京五輪候補選手として五輪合宿に参加し、近代フェンシングの技とレッスン方法を後輩に伝授した。

60年 関西学生リーグ戦 サーブル 初優勝 十河、井筒、呉田、都甲

61年 関西学生選手権 個人サーブル 優勝 呉田

62年 全日本学生選手権 個人エペ 優勝 石角

63年 関西学生リーグ戦 サーブル優勝

王座決定戦サーブル 全国制覇 竹安、西、高島、後谷 対立教大

関西学生選手権 個人サーブル 優勝 竹安

中日本大会 個人フルーレ 優勝 後谷

65年 関西学生リーグ戦 サーブル優勝 井上、足立、油上、中野

66年 関西学生リーグ戦 サーブル優勝 中野、米井、芦田、新谷

関西学生選手権 個人エペ優勝 米井

67年 関西学生リーグ戦 サーブル優勝 稲田 松田 木村 徳山

69年 第1回関西学生選手権 エペ優勝 橋本

71～80年 女子チーム誕生と男子2部リーグ陥落

71年 リーグ戦 総合6位 創部初の入替戦。甲南大に勝利し1部残留。

72年 女子フルール リーグ戦に初出場 野村 山村 井面

73年 関西学生リーグ戦 エペ優勝 和田 米村 草野 杉田 安田

78年 男子は2部リーグへ陥落

81～90年 男子2部優勝も1部昇格果たせず

81年 1983年に男子2部リーグ総合優勝するも入替戦で中京大に敗退。

86年以降は男子が2部リーグ4～5位に低迷し、女子部員も減少し低迷した。

91～2000年 低迷の時代の始まり

93年 男子3部リーグに転落

97年 男子4年ぶりに関大に勝利し2部リーグ復帰

98年 女子12年ぶりに2部リーグ戦復帰。

01～10年 部員不足による廃部の危機時代

2003年 女子2部リーグ優勝。入替戦で中京大に敗れ2部残留

06年 女子2部リーグ優勝。入替戦で関大に勝利し1部昇格。

07年 女子エペ 大崎 ヨーロッパサーキットワールド大会に出場。

男子3部リーグ降格

04年以降ハ新入部員が集まらず、廃部危機を迎える。

10年 竹安総監督/原田監督「スポーツ選抜入試」活用したリクルート活動の本格開始。

創部70周年を挙行し、竹安会長より「強い関学フェンシング部復活」宣言。

11～20年 強い関学復活宣言 男子37年ぶりの1部復帰 女子チームの活躍

11年 男子3部リーグ戦優勝 2部リーグ復帰

女子2部リーグ戦優勝 1部リーグ復帰

12年 男子2部リーグ戦 4位

女子1部リーグ戦 6位 入替戦京大に勝利 1部残留

女子サーブル 川島がジュニアナショナルチームに選出されヨーロッパを転戦

13年 男子2部リーグ戦 2位

女子1部リーグ戦 6位 入替戦京大に勝利し1部残留

女子エペ 渡辺がジュニア日本代表に選出、ジュニアW杯スウェーデン大会出場

関西学生選手権 個人女子フルーレ優勝 川島

14年 女子エペ 渡辺がU23アジア大会に出場し個人3位、団体2位

男子サーブル 山形がジュニアW杯メキシコ大会出場

男子エペ 野田がジュニアW杯スイス大会出場

15年 男子2部リーグ戦優勝 入替戦で京産大に勝利し37年ぶりの1部昇格

女子1部リーグ戦 5位

関西学生選手権 個人女子フルーレ 優勝 川島 女子エペ 優勝 渡辺

女子エペ 村上 ジュニアW杯フィンランド大会出場

女子エペ 渡辺 W杯リオデジャネイロ大会出場

16年 男子1部リーグ戦 4位 エペ 優勝

女子1部リーグ戦 3位 エペ 優勝

関西学生選手権 団体 男子エペ 優勝

女子エペ 桑田 ジュニアエペW杯イタリア大会出場

17年 男子1部リーグ戦 4位

女子1部リーグ戦 5位

女子エペ 伊東 W杯カタール大会出場

交流戦から発展し10月に慶大と第1回定期戦開催

男子サーブル 服部 女子サーブル 濱野 田中 ジュニア W 杯ハンガリー大会
出場

関西学生選手権 団体 男子エペ 優勝 女子エペ 優勝

18年 男子1部リーグ戦 4位

女子1部リーグ戦 5位

女子エペ 村上が日本代表として W 杯スペイン大会出場、U23アジア選手権マニ
ラ大会にも出場し団体3位入賞

女子エペ 巖 ジュニア W 杯ルクセンブルグ大会出場

19年 女子1部リーグ戦 女子創部初の総合2位

男子1部リーグ戦 6位 京産大との入替戦に勝利し1部残留

全日本学生選手権 女子エペ団体3位入賞

20年 新型コロナウイルス感染拡大によりリーグ戦・関カレ・インカレ・定期戦が中止

21～25年 コロナ禍を乗り越え女子チームがリーグ戦総合4連覇の偉業

21年 男子1部リーグ戦 5位

女子1部リーグ戦 2位

関西学生選手権 団体 女子フルーレ 優勝 女子エペ 優勝

個人 女子フルーレ 優勝 津田

22年 男子1部リーグ戦 総合5位

女子1部リーグ戦 女子創部初の総合優勝 フルーレ・エペ 優勝

関西学生選手権 個人 女子フルーレ 優勝 神山 女子エペ 優勝 石川

23年 男子1部リーグ戦 総合6位 入替戦で関大に勝利し1部残留

女子1部リーグ戦 総合2連覇 フルーレ・エペ 優勝

関西学生選手権 団体 女子フルーレ 優勝 女子エペ 優勝

個人 女子フルーレ 神山 2連覇

24年 男子1部リーグ戦 3位

女子1部リーグ戦 総合3連覇 フルーツ・エペ優勝

関西学生選手権 団体 女子フルーツ2連覇 女子エペ2連覇

個人 女子フルーツ 神山 3連覇

女子エペ 石川愛実が日本代表でGP カタール大会・W杯バルセロナ大会に出場

25年男子1部リーグ戦 6位 入替戦で京産大に惜敗し2部降格

女子1部リーグ戦 総合4連覇 フルーツ・サーブル優勝

関西学生選手権 団体 女子フルーツ3連覇 女子エペ3連覇

KGAD(関学競技スポーツ局)への加盟

フェンシング部 部史 編集担当者

(S39 社会学部卒 竹安、S50 社会学部卒 草野)